



令和6年10月4日

報道機関 各位

上田市立博物館 秋季企画展 上田城跡史跡指定九〇周年
「(続)叶うのか、七つ櫓の復元—上田城の古写真とその撮影者とは—」
開催のお知らせ

今年の秋季企画展は、令和4年度企画展『叶うのか、7つ櫓の復元』の続編企画として再び上田城の櫓復元がテーマとなります。

本展では「懸賞金による史料収集事業」で見つかった新史料を中心に、幕末から明治、大正期に上田で活躍した写真師たちの足跡をたどり、当時の上田の写真事情や唯一発見されている「北櫓や櫓門が撮影された古写真」の撮影者の謎、さらには最後の上田城主である松平忠礼とその家族が遺した写真などを紹介して櫓復元につながる古写真を発見できる可能性について考えます。ぜひ本展の取材に御協力をお願いいたします。

担当者不在の日や時間もございますので、可能でしたら取材のお時間など、事前に御連絡をいただくとスムーズです。

秋季企画展上田城跡史跡指定九〇周年

「(続)叶うのか、七つ櫓の復元—上田城の古写真とその撮影者とは—」

- 日時 10月12日(土)～12月10日(火) 9:00～17:00 (入館は16:30まで)
- 休館日 水曜日、祝日の翌日、※10月15日(火)、11月5日(火)、26日(火)は休館。
- 場所 上田市立博物館 本館 1F 展示室、別館 1F 休憩室
- 入館料 300円(高校・大学生200円、小・中学生100円。障がい者及びその介助者、上田地域定住自立圏内の高校生以下は無料。団体割引あり)

<関連講座>

- ◎ミュージアムトーク(展示解説)
 - ・日時 10月12日(土) ① 10:30～12:00、② 13:30～15:00
 - 11月17日(日) ③ 10:30～12:00、④ 13:30～15:00
- ◎記念講演会
 - ・日時 11月30日(土)13:30～15:00(開場13:00)
 - ・講師 櫓復元推進室 室長 和根崎 剛
 - ・演題 「明治・大正期の上田の写真師たち —企画展を振り返って—」
 - ・場所 信濃国分寺資料館 講堂

上田市は「SDGs 未来都市」です。



上田市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

本件に関する問合せ先

上田市立博物館

館長 坂部(担当者 主任 久保)

Tel.0268-22-1274

秋季企画展

（続）叶うのか、 七つ櫓の復元

— 上田城の古写真とその撮影者とは —

2024年
10月12日(土)
↓
12月10日(火)



松平忠礼側室 谷かね



明治天皇巡幸時の行在所(上田街学校)



馬上の松平忠礼



幕末の姿を想定した上田城のジオラマ(当館蔵)

上田城跡史跡指定九〇周年

- 時間 / 午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
- 休館日 / 水曜日、10月15日(火)、11月5日(火)
11月26日(火)
- 会場 / 本館1階 展示室
別館1階 休憩室
- 入館料 / 300円
(高校・大学生200円、小・中学生100円)
障がい者及びその介助者、上田地域定住自立
圏内の高校生以下は無料。団体割引あり

ACCESS



上田市立博物館

Ueda City Museum

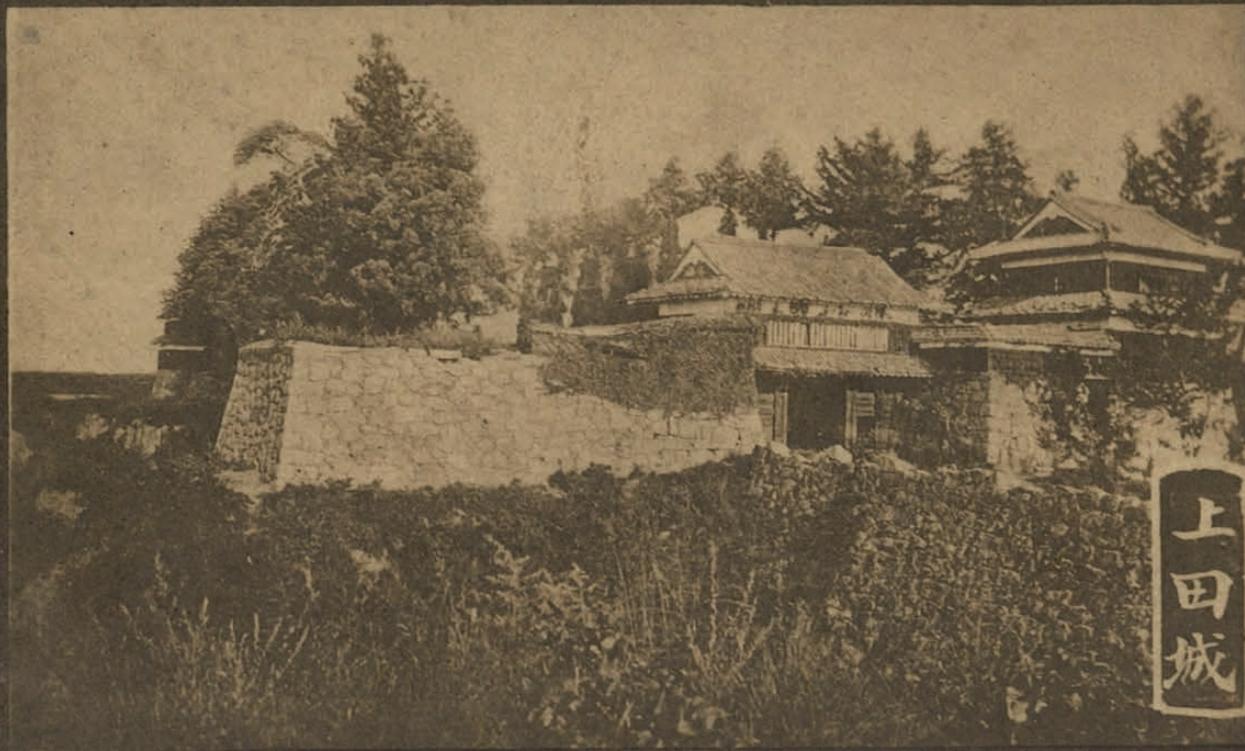
〒386-0026
長野県上田市二の丸3番3号(上田城跡公園内)
TEL.0268-22-1274
FAX.0268-23-5503

上田市立博物館 検索



E-Mail: hakubutukan@city.ueda.nagano.jp

〈共催〉上田市 櫓復元推進室
上田市教育委員会生涯学習・文化財課



明治初期の上田で

活躍した写真師たち

〜彼らは本当に

上田城の写真を遺していないのか!?

令和四年度秋季企画展「叶うのか、七つ櫓の復元」では、上田城における昭和の南櫓・北櫓の移築復元、平成の櫓門復元は市民運動が大きな原動力となって実現したことを紹介しました。その中で、上田市が取り組んでいる七つ櫓の復元を願う機運の盛り上がりを企図するとともに、復元に必須とされる古写真がたつた種類しか見つからない現状をお知らせし、櫓復元に必要な史料の情報提供を呼びかけました。

その後、上田市は五〇〇万円の懸賞金を掛けて古写真等の収集に取り組んでいます。復元につながる史料の発見には至っておりませんが、私たちがこれまで把握していなかった史料の情報が寄せられ、明治初期における上田の「写真師」の活躍と彼らが遺した膨大な量の古写真に驚かされました。私たちは今、彼らの生涯や撮影した写真をもとに、上田城の古写真の発見に全力を注いでいます。今回の企画展は、「(統)叶うのか、七つ櫓の復元」と題し、これまでの史料収集の進捗についてお知らせし、新たに寄せられた史料を中心に皆さんにご紹介します。

本展は、最後の上田藩主・松平忠礼（たなひら）が行った西洋の写真技術の導入をプロローグとし、明治天皇が上田に巡幸された際に献上された廃城・上田城跡の写真の謎や、「田中鼎三」（たなかたけみ）「大石良義」ら上田の写真師たちの活躍等を紹介して、上田の写真の歴史を紐解きます。そして、最後に藩主の末裔松平忠倫（たなひら）が知人に託した一枚の古写真に見える松平家の誇りと想いを辿りながら、上田城跡が最終的には松平氏の手で現代に遺された城であることを、広く周知したいと考えています。

本企画展の開催により、上田城跡整備に対する理解と関心を高め、古写真等の発見により、早期に七つ櫓の復元が叶うことを願うものがあります。

写真台紙に見る上田の写真師たち(明治～戦前)



- ①陽明堂大石良義
- ②三井写真館
- ③陽明堂大石(良義)
- ④石坂写真館
- ⑤小山写真館
- ⑥好子堂(松岡金作)